

ます。間を空けて、違うリズムにすると、その間の部分で集中が途切れてしまい、リズムの変化を感じるといふことは難しい様子もあります。普段、職員の動きや声に注目することの少ないAさんですが、活動の中では、ぐっと集中して見たり、聞いたりする時間を過ごせています。

うららの
日常生活紹介
村松 裕子

Aさん(横地分類C2)は間違いが隠れている二枚の絵を見ると、真剣な表情で二枚を見比べて間違いを探しています。間違いを見つけると手で示して職員に伝え、「正解だね」とこたえると嬉しそうな笑顔になります。また、タブレットでどちらの手に物を持っていいのかを当てる「どっちだ」というアプリを行うとジッと画面を見て考えながら、どっちに持っているかを選んでタッチします。正解するときにやかな表情になっていきます。探したり選んだりして成功することに面白さを感じている様子があります。日常活動ではマジックで点と点を線でつないで絵を完成させるものを行ないました。

最初に完成した絵を示しながら、点と点を順に線でつないで絵を描いて説明をしました。その様子を真剣な表情でじっと見ています。次に「やってみる？」とすすめると、手を伸ばしてマジックをぎゅゅと握ります。完成図と見比べながら真剣な表情で点と点をつないでいきます。点と点の距離が長いとより慎重にマジックを動かして線を引いています。手の動きが止まりどの点と結んでいいのか迷っている様子がある時は、完成図を指さして「次はこっちはやない？」など説明すると完成図と交互に見て、次の点に向かって集中して線を引きました。完成すると身体力を抜いて、出来上がった絵をよい表情で見えています。「できたね、すごいね」と声をかけると満足そうに表情を緩めていました。

ほくとの
日常生活紹介
江間 麻衣

Aさん(横地分類A4)は、響の良い音や流れるように上がった下があったりする音階、だんだんと大きくなったり小さくなったりするひとまとまりの音をよく聴いています。Aさんの隣へギターを持つて近づくと、目が輝き嬉しそうな表情になります。身体も向きもギターと職員に向き合うように変え、期待している様子がみられます。ギターを1音鳴らすと、それまで動か

していた手を止めじっと耳を澄ませています。音が聞えなくなると大きく息を吐き出し、響いている音がだんだんと小さくなっていく変化に集中していたようでした。今度はAさんの手をとり、一緒に弦を鳴らします。弦に近づいていく自分の指先を真剣な表情でよく見ていて、音が出ると最初と同じようにじっと集中しながら音に耳を傾けていました。もう一度一緒に弦を鳴らすと手を近づけると、Aさんの指先が小さくクイツ、クイツと何度か動きました。その動きからAさんの弦に触れたい、音を出したいという気持ちも伝わってきました。そして音が響くと顔をあげ一旦は笑顔になりましたが、まだ響いている音に気づくと再び音に注目していました。音が消えてしまうと今度はAさんが職員の手で自分の手を乗せてきました。「もう1回弾く？」と一緒に弦に触れました。うまく弦に指がかからず響いた音は小さな音でしたが、それでも一緒に出した音を聞こうと集中していました。響きのよい音の変化に面白さを感じているようでした。そして自分が触れたことで音が出たということにも満足そうな表情がみられました。

Bさん(横地分類A4)は、相手の動きを伺うことでタイミングや物の動きを予測しています。日常活動では、30度の傾斜を作り、その下から物を投げ上げ戻ってくる動きを見る活動を行いました。傾斜に向かって「1・2の3」で筒を転がすと、傾斜を登って途中で戻ってくるという動きを追って見えています。次からはかけ声がすると視線を上に向けたり身体に力を入れたりして、筒を転がすタイミングを意識し構えていました。何度か行う中で筒が勢いよく転がり、傾斜の向こう側に落ちていくと目を大きくさせていました。戻ってくるという予測と違う結果に驚きを感じていました。また、筒の他にペットボトルを転がしてみせました。筒のように真っ直ぐ転がらず斜めに外れて転がっていくと、その動きを追いながら高い声を出し表情を緩めていました。戻ってくる動きとも傾斜の向こう側へ落ちていく動きとも違う転がり方に面白さを感じていたようでした。その後も職員の動きや転がっていく物の動きに注目していました。転がした物がどのような動きになるのかを期待して見ているようでした。